

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ指導実践概論 (141A0-1100)		授業形態	講義	授業科目区分	専攻科目 (指導実践科目)		
担当教員名	前田 博子・中垣内 真樹・金高 宏文・濱田 幸二・竹中 健太郎・塩川 勝行・坂口 俊哉			補助担当者名				
単位数	1 単位	履修年次	1年次		受け入れ人数	200名程度		
授業の概要	本講義では、3年次で履修する学外者を対象とした「スポーツ指導実習（必修）」に向け、認知（知識）的、情意（態度）的な準備を行う。選択できるスポーツ指導実習には、スポーツコーチ実習あるいは武道指導実習と、生涯スポーツ指導実習がある。しかし、多様な指導場面を理解するために、各実習の概略等を理解することを求める。授業では、まず受講生自身の大学入学までに受けたスポーツ指導体験を振り返り、スポーツ指導等への興味・関心を高める。その後、スポーツ指導実習に臨んだ学生の体験講話等を手がかりに、受講生自身の将来のスポーツ指導者像や実習の選択を考え、来るスポーツ指導実習への準備を図る。また、スポーツ指導で求められる適切な人間関係を結ぶコミュニケーション力の基礎についても学ぶ。							
授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技指導力、指導者基礎力、専門的な知識・ 教養	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	・ 自分自身が受けたスポーツ指導を振り返り、自らが関わろうとする将来のスポーツ指導への 手がかり・指針を説明する。 ・ スポーツ指導の基礎的な理論やスキルを理解する。 ・ さまざまなスポーツ活動の場について理解する。			○			60
■情意的領域	スポーツ指導及び実習に関わる事象や理論について興味・関心を持ち、それを積極的にかつ受講生同士で協力して探求しようとする。	○					40	
□技能的領域								
成績評価の基準	毎時行なう授業内で行う授業レポートと宿題（40点：5点×8回）と、3回の時間外レポート（60点：20点×3回）による要求課題の達成度を基に評価する。							
テキスト、教材 参考書	毎時間、WebClassを用いて、授業ワークを行う。そのため、i-PadもしくはPCを持参すること。資料等は、WebClassにて配布する。							
履修条件・ 関連科目	本授業後に開講する「キャリアデザインⅡ」も合わせて受講することが望まれます。	備考(教員メッセージ含む)	スポーツ指導実習の理解とともに、卒業後のスポーツや武道等との関わり方を積極的に考えて欲しい。					
オフィス・アワー								
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	前田 博子 金高 宏文	スポーツ指導実習について／スポーツ指導に必要な知識とスキル			WebClassで授業内容の復習と宿題（30分以上）			
2	金高 宏文 塩川 勝行	指導対象への対応について考える（コミュニケーション演習を含む）			1回目レポート（20点）提出、WebClassで授業内容の復習と宿題（30分以上）			
3	濱田 幸二 塩川 勝行	スポーツ活動の現場について／スポーツ指導実習報告			WebClassで授業内容の復習・レポート作成（1時間）			
4	竹中 健太郎	武道活動の現場について／武道指導実習報告			2回目レポート（20点）提出、WebClassで授業内容の復習と宿題（30分以上）。			
5	前田 博子	コミュニティ・スポーツの現場について／生涯スポーツ指導実習報告①			WebClassで授業内容の復習と宿題（1時間）			
6	前田 博子 中垣内 真樹	健康づくりの現場について／生涯スポーツ指導実習報告②			WebClassで授業内容の復習と宿題（1時間）			
7	坂口 俊哉	野外活動の現場について／生涯スポーツ指導実習報告③			WebClassで授業内容の復習と宿題（1時間）			
8	金高 宏文	授業のまとめと学習の振り返り（コミュニケーション演習を含む）			3回目レポート（20点）提出。			